

暮らしの中に眠る音楽があなたの授業に！！

郷愁を誘うなつかしい音たちが子どもの心に響く

# 授業に使える郷土の音楽

あなたも教材化してみませんか？

郷土の音楽を学びの場へ

## 教材化プロセス

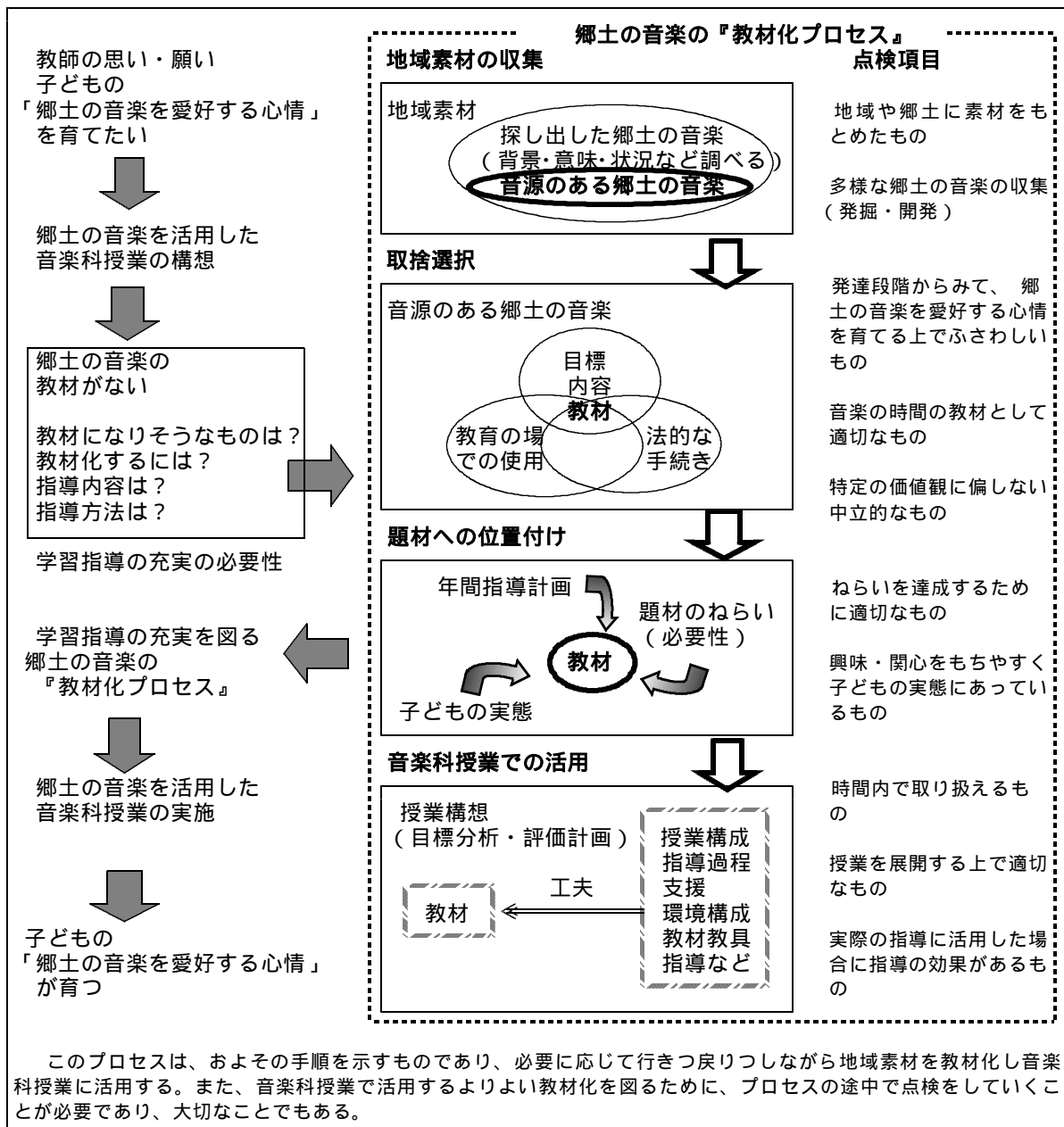
地域素材を教材化し音楽科授業で活用するプロセスや資料の紹介



# 教材化プロセスを実践する具体的な方法や留意事項、群馬県用資料など

## 地域素材を教材化し音楽科授業で活用するプロセス及び基本構想図

- 1 地域素材の収集
  - (1) 地域に伝承されている郷土の音楽を収集するために、情報収集する方法を考える。
  - (2) 地域素材の中から、地域に伝承されている郷土の音楽を、(1)で考えた方法でできるだけたくさん探し出し収集する。また、背景や意味や状況などを詳しく調べる。
  - (3) 郷土の音楽の音源（VTR・CD・カセットテープなど）を収集する。
- 2 取捨選択
  - (1) 子どもの発達段階を考慮し、学習指導要領における音楽科の目標や内容に即しているか検討し、郷土の音楽を取捨選択する。
  - (2) 著作権や肖像権など法的な手続きに問題はないか使用可能であるか検討し、取捨選択する。
  - (3) 郷土の音楽が教育活動の場で使用可能であるかを、音源の質・背景や歌詞の内容・身体表現や動き・扱いやすさなどの条件を考慮して取捨選択する。
- 3 題材への位置付け
  - (1) 各学校の教育目標や学校行事や他教科の学習内容などを考慮し、郷土の音楽(教材)を、小・中学校の音楽科年間指導計画の題材の中に位置付ける。
  - (2) 題材のねらいや授業構成上活用する必要があるか検討し、郷土の音楽(教材)を題材へ位置付ける。
  - (3) 題材に対する子どもの実態を考慮し、親しみやすく興味・関心をもちやすいような郷土の音楽(教材)を題材へ位置付ける。
- 4 音楽科授業での活用
  - (1) 「郷土の音楽」を教材として活用した音楽科の授業を構想する際、授業のねらいや目標を分析し、様々な工夫の中から達成していくために、効果的な工夫を検討し、指導計画を作成する。
  - (2) 「郷土の音楽」を教材として活用する音楽科授業を構想する際、授業のねらいや目標に照らし合わせて評価計画を作成し、指導計画や本時の展開(授業計画)の中に評価の観点・評価方法を盛り込む。



郷土の音楽を収集するための参考文献・資料などの例(群馬県の場合)

	書名・資料名・題名など	編集/発行/著者	発行所	発行年	所有者(など)	
書籍・紀要・資料など	日本全国	平成14・15・16年度 研究集録 和楽器活用の音楽教育 第1～3集	NPO邦楽教育振興会	NPO邦楽教育振興会	平成15・16・17年3月	総合教育センター図書館
		和文化 日本の伝統を体感するQA事典	和文化教育研究会 中村哲	明治図書出版	平成16年10月	県立図書館
		民俗芸能で広がる子どもの世界	文化庁：芳賀日出男・星野紘	社団法人全日本郷土芸能協会	平成15年3月	(書店販売)
		日本の伝統文化を生かした音楽の指導	峯岸創・大熊信彦ほか	(株)暁教育図書	平成14年6月	総合教育センター図書館
		日本の楽器 全6巻CD付 日本の音1・2・3・4・5・6	高橋秀雄	小峰書店	平成12年2月	県立図書館
		音楽からみた日本人 日本音楽がわかる本	小島美子 千葉優子	日本放送出版会 音楽之友社	平成9年7月 平成17年3月	県立図書館 前橋市立図書館
		日本の民俗芸能調査報告書集成 関東地方の民俗芸能	各県の教育委員会	(有)海路書院	平成16年11月	県立図書館
	群馬県	群馬県の民俗芸能 -群馬県民俗芸能緊急調査報告書-	群馬県教育委員会	群馬県教育委員会	平成9年3月	総合教育センター図書館
		高等学校芸術科 指導資料(音楽関連科目) 「郷土芸能」指導の手引き	群馬県教育委員会	群馬県教育委員会	平成9年5月	総合教育センター図書館
		群馬の祭り・行事 -群馬県祭り・行事調査報告書-	群馬県教育委員会	群馬県教育委員会	平成13年3月	総合教育センター図書館
		群馬県の民謡 -民謡緊急調査報告書-	群馬県教育委員会 文化財保護課	群馬県教育委員会	平成元年3月	総合教育センター音楽科
		群馬の八木節 -伝承文化調査報告書-	(財)群馬県文化事業団	(財)群馬県文化事業団	昭和57年3月	前橋市立図書館
		新世紀ぐんま 郷土史辞典 群馬の獅子舞	(財)群馬地域文化振興会 群馬県獅子舞保存会	群馬県地域事業振興会 群馬県獅子舞保存会	平成15年1月 昭和58年	総合教育センター図書館 前橋市立図書館
		群馬県文化財地図 	群馬県教育委員会	群馬県教育委員会	平成3年3月	総合教育センター図書館
生命の発見 第16回 国民文化祭ぐんま2001 公式記録(CD-ROM付)		文化庁・群馬県ほか	第16回国民文化祭群馬県実行委員会	平成14年3月	総合教育センター図書館	
群馬の郷土芸能(上下) 群馬の祭りと年中行事		萩原 進 都丸十九一	みやま文庫 上毛新聞社	平成5年3月 平成7年6月	県立図書館 前橋市立図書館	
群馬のわらべ歌		酒井正保	柳原書店	昭和62年10月	総合教育センター図書館	
群馬の伝承わらべうた		酒井正保	群馬県文化事業振興会	平成12年5月	前橋市立図書館	
民俗音楽の底力 -群馬県 王モデルを中心に-		日本民俗音楽学会	勉誠出版	平成13年10月	県立図書館	
現代群馬の郷土教材探求 社会科学 習・総合的学習の基礎として		山口幸男	あさを社	平成13年3月	県立図書館	
	資料名・題名など	編集・発行など	発行所	発行年	所有者(など)	
音源	群馬県	CD 群馬の祇園囃子	群馬県教育委員会 文化財保護課	群馬県教育委員会	平成7年	総合教育センター音楽室
		VTR 群馬県の民謡 上州の仕事唄(上下)	群馬県教育委員会 編集作成	群馬県教育委員会	平成10年	総合教育センター音楽科
		VTR 群馬の民謡(仕事唄の世界)	群馬県教育委員会 編集作成 代表 井田安雄	群馬県教育委員会		総合教育センター音楽科
		VTR 各市町村郷土芸能大会などの収録	各市町村教育委員会 文化財保護課	各市町村教育委員会 文化財保護課		各市町村教育委員会 文化財保護課
		カセットテープ 群馬の民謡集 第1集	群馬県民謡連盟 解説 都木喜祿	群馬県民謡連盟	平成9年5月	総合教育センター音楽科

郷土の音楽を検索できるWebページの例

	Webページのタイトル	掲載されていたページ(次)	Webページのアドレス(http://www.)
日本全国	平成12年度文部科学省 教育用コンテンツ開発事業	「オンライン音楽室」日本の音楽 郷土の音楽	ongakushitsu.net/
	和文化の風	和文化Webリンク	http://hsdb.soc.hyogo-u.ac.jp/wabunka/
	教育芸術社	「音楽調べ隊：郷土の音楽」	kyogei.co.jp/index.html
	わざをき通信	群馬県獅子舞一覧表	asahi-net.or.jp/~TQ7K-WTNB/index.html
群馬県	群馬県教育委員会文化課 (財)群馬県教育文化事業 団	群馬の文化財 芸術・文化 「ぐんま地域文化マップ」	pref.gunma.jp/kyoi/10/index.html manadi.pref.gunma.jp/jigyodan/
	ぐんま郷土芸能助っ人塾	群馬県内の郷土芸能	manabi.pref.gunma.jp/kenmin/suketto/index.htm
	各市町村のWebページ (例：前橋市)	目的別でさがす文化・教育・人権 前橋市の郷土芸能	city.maebashi.gunma.jp/index.html

## 子どもの発達段階と音楽科学習の例

発達段階	ねらい	教材【郷土の音楽】	親しませたい特徴(重点項目)	主な学習活動
小学校 低学年	・わらべうたを歌ったり歌いながら遊んだりする活動を通して、郷土の音楽の独特なリズムに親しむ。	・表現教材【わらべうた】	・リズム ・音と音の間(リズム)	・わらべうたを歌ったり、歌いながら遊んだりする。
小学校 中学年	・簡単なふしのわらべうたを演奏する活動を通して、旋律の流れに親しみ、旋律の特徴を感じ取る。 ・それぞれの地域に伝わる郷土の音楽を鑑賞したり体験したりする活動を通して、郷土の音楽があることを知り、旋律やリズムに親しむ。	・表現教材【わらべうた】 【民謡】 【郷土芸能】 ・鑑賞教材【民謡】 【郷土芸能】	・リズム ・音と音の間 ・日本の音階 ・旋律の流れ ・和楽器の音色 (旋律)	・わらべうたの簡単なふしでリコーダーの基本練習をする。 ・郷土の音楽のリズム打ちを体験する。(実際の楽器があるとよい) ・郷土の音楽の旋律の流れやリズム、演奏の様子などに気を付けながら鑑賞する。
小学校 高学年	・郷土の音楽を歌ったり旋律やリズムを参考にして創作したりする活動を通して、日本の音階に親しみ、音の重なりや響きを味わう。 ・日本の音楽や郷土の音楽を鑑賞する活動を通して、和楽器の音色や響きや音の重なりを味わう。 ・郷土の音楽と世界各国の民俗音楽とを鑑賞し聴き比べる活動を通して、いろいろな音楽に親しみ、それぞれの地域の楽器の音色や音の重なりや響きを感じ取る。	・表現教材【わらべうた】 【民謡】 【郷土芸能】  ・鑑賞教材【民謡】 【郷土芸能】	・リズム ・音と音の間 ・日本の音階 ・旋律の流れ ・楽器の音色や響き (音の重なりや和声の響き)	・わらべうたや民謡を自然で無理のない発声で歌う。 ・わらべうたの旋律や祭り囃子のリズムを参考にして、リズム伴奏や旋律の創作をしたり合奏したりする。 ・和楽器の音色や音の重なりなどに気を付けながら、郷土の音楽を鑑賞する。 ・ほかの地域に伝わる郷土の音楽や他国の民俗音楽と郷土の音楽を聴き比べる。
中学校	・多様な音楽を曲種に応じた発声で歌ったり、和楽器や諸民族楽器で演奏したりする活動を通して、楽器の音色や響きや音の重なりの違いを味わい、音や音楽への興味・関心を養う。 ・郷土の伝統音楽や多様な音楽を鑑賞し聴き比べる活動を通して、音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高めるとともに背景にある文化や歴史などについて理解する。 ・伝統音楽や和楽器の活用を通して音楽文化を理解し尊重する。	・表現教材【わらべうた】 【民謡】 【郷土芸能】  ・鑑賞教材【民謡】 【郷土芸能】	・リズム ・音と音の間 ・日本の音階 ・旋律の流れ ・和楽器や諸民族楽器の音色や響き (活動の喜びや感動体験、意欲、態度)	・曲種に応じた発声で歌う。 ・郷土の伝統音楽や諸民族の音楽を和楽器や諸民族楽器を用いて演奏する。 ・郷土の音楽のふしを参考にして、創作活動をする。 ・数種類の郷土の音楽や他の国の曲を聴き比べる。 ・郷土の音楽を曲としてではなく、一つの芸能としてとらえ味わい、体験する。  選択音楽 郷土の伝統芸能など地域の特質を生かした学習をする。

## 音楽科授業に活用するための具体的な工夫の例

授業構成の工夫(効果的な発問や教材「郷土の音楽」の提示の仕方など)  
 指導過程の工夫(授業の流れ・進め方など)  
 支援の工夫(個に応じた指導・おおむね満足な状況になるための指導など)  
 環境構成の工夫(教室環境や板書計画など)  
 指導の工夫(体験的な活動・外部講師起用・ITで指導・ワークシートの活用など)  
 教材教具の工夫(音源以外の教材・楽器・プロジェクタなど)  
**総合教育センターの「教材レンタルサービス」などを活用し、なるべく本物の楽器に触れる機会を設ける。(センターのWebページ参照<http://www.center.gsn.ed.jp>)**



## 参考資料

平成14年度「日本の伝統音楽に親しむ学習指導に関する研究」山梨県総合教育センター 齊藤恵子  
 平成17年度東京都重点事業「日本の伝統・文化理解教育推進事業」東京都教育庁



平成17年度 教育フェスタ発表用 配布資料  
 平成18年2月

群馬県総合教育センター教科教育グループ  
 長期研修員(音楽科班) 萩原 桂子